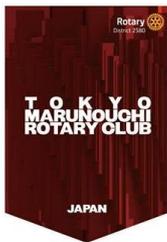


# 東京丸の内ロータリークラブ

2022年9月21日 第108回 例会プログラム



「夢、人、希望をつなぐ」  
心を育てる芸術の力  
Connect dreams, people & hopes  
The power of art that nurtures one's mind  
2022-23 年度 クラブ会長 President  
吉田 秀樹 Hideki Yoshida



Club of Tokyo Marunouchi

T O K Y O  
MARUNOUCHI  
ROTARY CLUB



“IMAGINE ROTARY”  
2022-23 国際ロータリー会長  
ジェニファー・ジョーンズ  
2022-23 RI 第 2580 地区ガバナー  
嶋村 文男

## 2022-23 年度ガバナー公式訪問

### 【例会】12:00～13:00

- 司会進行 渡上 智之 会員
- 開会点鐘 吉田 秀樹 会長
- ロータリーソング 「手に手つないで」

会議室使用規則の関係上割愛

- ゲスト・ビジター紹介 古山 真紀子 会員

本日のビジター:

- 国際ロータリー第 2580 地区 2022-23 年度ガバナー  
嶋村 文男様
- 第 2580 地区 2022-23 年度地区幹事 横山 義文様

- ニコニコ報告 古山 真紀子 会員

吉田 秀樹 会長:嶋村ガバナー、横山地区幹事、本日は沢山勉強させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

光行 順子 幹事:嶋村ガバナー、横山地区幹事、本日は楽しみに参りました。どうぞよろしくお願ひいたします。

古山 真紀子 会員:嶋村ガバナー、横山地区幹事、本日はようこそお越しくださいました。どうぞよろしくお願ひいたします。

- 会長挨拶・会長報告 吉田 秀樹 会長

- 幹事報告

- ロータリー財団報告 古山 真紀子 会員

- 卓話 【右参照】

### 9. 今後の予定

吉田 秀樹 会長

10月05日 第109回例会	通常例会 卓話:ロータリー米山奨学生 アディラ・ヤコフさん
10月19日 第110回例会	通常例会
11月02日 第111回例会	通常例会 Guest Welcome Day
11月16日 第112回例会	通常例会

### 10. 閉会の点鐘

吉田 秀樹 会長

### 11. 写真撮影

## 【ガバナー公式訪問フォーラム】

13:00～14:20

ファシリテーター 古山 真紀子 直前会長

### ◆◆四つのテスト◆◆

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

創立日: 2017年7月24日  
認証日: 2018年2月26日  
認証式: 2018年5月28日  
事務局: 東京千代田区丸の内 2-3-2 郵船ビル 1F  
TEL: +81 3-5533-8846  
E-mail: marunouchi-rc@outlook.jp(事務局: 桑原奈知子)  
URL: <https://www.tokymarunouchi-rc.com/>

例会日: 第1・第3 水曜日  
12時00分 - 13時00分  
例会場: 東京千代田区丸の内 2-1-1 明治生命館 B1F  
センチュリーコート丸の内  
(covid-19の期間中はオンライン例会の可能性あり)  
会長: 吉田 秀樹 幹事: 光行 順子

## 【ガバナー卓話】

国際ロータリー第 2580 地区

2022-2023 年度 ガバナー

嶋村 文男 様

【プロフィール】1963 年7月生まれ 法政大学法学部政治  
学科卒業、1998 年島村運輸倉庫株式会社 代表取締役  
就任

2006 年東京東江戸川ロータリークラブ入会

同クラブ会長、地区 RYLA 委員長、地区東分区ガバナー補佐等  
を経て 2022 年7月 RI 第 2580 地区ガバナー就任

ロータリー財団メジャードナー、ポール・ハリス・ソサエティ、  
米山功労者・メジャードナー

### ガバナー卓話

国際ロータリー第 2580 地区 2022-2023 年度ガバナー

嶋村 文男様

皆さん、こんにちは。ガバナーの嶋村でございます。今日は楽しみにして参りました。ありがとうございます。私達のガバナー補佐、尾崎ガバナー補佐には一生懸命やっています。まず今日はですね。あのちょっと人数が少し少なくて寂しく思うのですが、密に色々とお話を完成しないといけないと思っています。

実は今日で 30 クラブ目です。ガバナー公式訪問というのは、ガバナーになると、それぞれのクラブを回ります。1 番大切なのは、クラブを元気にする、ということでありまして、で、地区大会である程度 RI 会長のお話とかですね。いろいろな方向性をお話ししているのですが、なるべくクラブに行ってくださいね、せっかくなので、クラブの皆さんと交流しながら、今日は本当に、私は吉田会長と光行幹事を元気にするために来ましたので、楽しくやりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。さて、今日で 30 クラブ目です。いろいろなクラブを回らしていただいて、それぞれのクラブには歴史もあるし、個性もあるし、またまた課題もあるということを感じております。先ほど会長幹事懇談会、横山地区幹事、尾崎ガバナー補佐、古山直前会長もお立会いのもと和やかにお話しをさせていただきました。すごいなあと、本当に自信を持って行ってほしい、ということを感じました。吉田さんとは、会長ノミニー研修のズームでお会いしてからですね。その後お会いしたのだけど、なかなか、すごいなあとというのがありまして、ターゲットが夢、希望をつなぐということで、今日も大変楽しいお話を聞いた次第です。

私はアジェンダというのを作ってもらわせていただいています。若干ですね。あの地区大会が終わったら

変えたりしているのですが、基本的なスタイルは同じでございます。自己紹介とロータリーモーメントですが、1963生まれの59歳でこれ第2580地区では一番若い時に一ガバナーを拝命しております。これからはどんどん若い人が出てくるのではないかと感じております。私は学校、法政大学を卒業したあとと新日本製鉄の不動産会社、日鉄ライフに3年勤めまして、自分の家業の方に戻ってきます。

明治28年生まれの祖父が創業した、麻リサイクル業、もともと米屋さんだったのですが、昔、米のふくろは麻だったのですね、それを仕入れて、裁断して再生ビジネスを始めます。そして私38年生まれなのですが、昭和39年、皆さん、まだ生まれてない方もいるかもしれませんが、だんだん麻からポリとか段ボールに変わってくるわけですね。その事業を止めて、工場とか市場に貸倉庫を建てて不動産賃貸事業を始めました。そして昭和49年に一般貨物運輸事業を取って嶋村を立ち上げるというような形で。私はそこに平成2年に戻ってきて、社長になります。す。34歳の時に父が急逝します。もう心臓の一発だったので、びっくりしましたが、その時あの実の父の弟のおじさんがいたので、そちらの方が継ぐと思ったら君がやりなさい、ということで、34歳で出来の悪い3代の社長になるのですね。ロータリーには42歳で入るのですが、まあ仕事しました。朝から晩まで荷物を担いだり、トラック運転したり、スーツに着替えて営業したり、実はここはマルハの本社なので毎年ここには来ていました。

このセッティングの仕事を全部やっていたので懐かしいなと思ったのですが、そんな仕事をさせていただきました。で、今回は大表幹事の茂手木さんが高校の先輩で、僕は千葉県にある千葉高校の出身なのですが、その高校の同窓会、東京支部を立ち上げた時に声かけて見ていただき、まあ、全然私はJCも全くやっていなかったんで、ロータリー、すごい先輩ばかりで、そういう時に入れていただきました。私の下には38ぐらいの方が1人いましたかね。当時45名いるクラブでした。ロータリークラブは基本的に2人スポンサーが必要なのですが、一人が茂手木さんで、もう1人が昭和6年生まれ、高橋けんじさんという分区代理（現在はガバナー補佐）でその方に挨拶に行きます。で、何を喋ったかは全然覚えてないですけど、蔵前の大きなカバン問屋の会長さんでした。自社ビルの前で見送ってくれる時に直立不動で立って見送ってくださるのですが、バックミラーで見えるのですが、ロータリーはすごいなあと思いました。それが第一印象でした。そして入会してすぐに、私のクラブにはローターアクトがあって、当時は30歳で卒業だったので、1人の女性の方がもう卒業間近だけど活動したいということで、大正5年生まれの岩倉先生、産婦人科の先生です。今お孫さんがうちのクラブにいます。その先生から嶋村くん一緒にゴミ拾いをしないかと、やろうと言われて、環7という大きな道の中央分離帯の清掃事業をやりました。当時89歳でした岩倉先生はね。その方が中央分離帯に入ってゴミを拾う姿を見て、もうびっくりしたというかね、とその時にロータリーの心に火がついたという経験をします。そして入会3年目、津田さんという設計士の方が、嶋村君は障害のある人の目を見たことがあるかね。彼らの目には命のほとばしるような気持ちである。一緒に美術店をやらないか、で、3年間地区補助金の企画書いて、当時私は入会3年目45ぐらいで、特別支援学校が都立は32個校ありました。それを8校ずつ分けて貸してくださいとやるのです。津田さんは3年目の最後の時にガンで倒れられて本当に命がけの奉仕のする姿を僕は見せていただきました。そして入会6年目弘前アップルロータリークラブの関場先生とで会いました。インドに行き、この子の口にワクチンが入らないと、この子はポリオになってしまう。そんな切羽詰まったような活動をしてその時の写真ですが、そしてこの間、クラブの幹事とか会長をやりながら、いろんなことをスタートするわけなのですが、私は書いてある通りですね。いろんなことを舞台で活動をしてきた。ロータリーの活動をさせて頂く中で42歳の下町のお兄ちゃんが少しずつ良くなってゆく。最初、例会は毎週火曜日なのですが、行けるなんて思わなかったのだけど、行くのが楽しくなる。先輩たちも可愛がってくれる。私は9人自分のクラブに入れているのですがロータリーの良さを少しずつ伝えながら今に至っている。ですから、僕は、ロータリーは人を育て向上させる場だと思います。この認識を皆さんがしっかり持って、会員増強にも勤しんでほしいかな、というふうに思っているのです。さて、4つのテストの話をちょっとしたのですがこの4つのテストって書いてありますね。渡上さんは4つのテストのどの言葉にいちばん引か

れますか。私は1番目「みんなに公平」ですね。光行さんは？私は4番目の「みんなのためになる」です。はい、大体これ聞くと、1番か4番って言うのです。私は渡上さんと同じで「みんなに公平か」ですね。ほんとはですね。4つのテストを上、言行はこれに照らしてからを入れた方がいいかもしれませんが、覚え方は「し・み・こ・み」と覚えるのです。そしてロータリーにだんだんはまっていくわけなのですが、今年国際ロータリー会長、ジェニファー・ジョーンズ会長のテーマ、イマジンロータリー、まだ会ってないのですが、あの強さと優しさを持っているリーダーだと思っています。ロータリーという団体が、ポリオを根絶する。そして世界的な平和のことを考えるなら、私たちは素晴らしい世界を夢見ながら、みんなで手を携ってやりましょう。やるのは、私たちロータリアン、ローターアクトの皆さん、彼女はしっかり言っています。紫はポリオ根絶、この子にワクチン投与をしたかどうかの確認をするために、左の小指の爪を紫色のマジックで染めます。で、これがパープルですね。緑は成長です。白は平和という3色をジェニファーは使っています。ロゴマーク、環は人々の繋がり、7つの重点項目を表しながら私達は素晴らしい世界を想像しながら手を携えながら汗を流そうというメッセージが、緑の棒は物を掘る時に使う道具で、実はこれはオーストラリアのアボリジニー、6万年前にいた原住民のモチーフ。私たちの来年の世界大会はメルボルンですね。そういうことで、彼女はそういうことを伝えているわけでありまして、さて、Take action for Rotary Future、Reach out for world peace というカバナー信条という言い方をしていますが、それを皆さんにお話をしています。実はジェニファーのイマジンロータリーが発表されたのは、1月25日の日本時間の10時過ぎ、全世界に発信されました。聞いているのはロータリアンなのでしょうけどね。まその時に、僕にぴったりだなあっていうのは思いました。で、翌日メンバーからまた「良かったね、ターゲット近くて」って言われたのを今でも覚えています。これから東京丸の内RC、素晴らしいポテンシャルがありますので、想像しながら素晴らしい世界を作ってもらえるかな、というので、今日は会長幹事懇談会で楽しくできました。ぜひ、我が地区を代表する可能性があるわけですから楽しみにしておりますので、素晴らしいイマジン、東京丸の内タクラブを作り上げていただきたいな、という風に私は思っています。地区大会で同じ話をしたのですが、それぞれの組織、それぞれの団体が経営理念とか社訓とかがあります。それぞれの団体があって、JCは奉仕、友情というのがあるらしいです。私は日々感謝という言葉大切にしています。車にも会社の制服にもつけているのですが、全てに感謝できる経営をしましょうということを、私はいつも会社の人々と一緒に学びながら言っているわけですが、ロータリーの目的は、ロータリー手帳に書いてありますが「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を推奨しそれを育む」と決まっています。

捉え方は別としても、それが目的として決まっています。企業それぞれ様々な仕事もそうだし、プロジェクトもそうだし、を基礎とするものは奉仕の理念、それを育みながら広めましょう、というのが目的なのです。Ideal of Service そうすると、奉仕の理念ここに書いていますね。これを理解すると、ロータリーが少しずつ分かりやすくなる。Ideal of Service、相手を思いやって人の役立つことをする。これに基づいて皆さんが今年吉田会長、こういうことやりますよ。みんな力を合わせてやりましょう。次の会長はこういうことをやって、さっき聞いたのですが、学校になかなか行けないに人のために手をさしのべる事業、例えば、環境を考える、地球のために何かをしようと、この奉仕の理念をいかに自分の中で持って、いかにそれを磨いていくか、そしていかに様々な活動をしながらそれを発信するかですよね、で、国際ロータリーの目的も決まった3つあるのですね。国際ロータリーの目的は、奉仕の理念の追求、情報の媒介、そしてもう1つがそれぞれのロータリーの成長拡大なのです。これは全く問題ないと思うのですが、RIって俺たちの上層団体ではなく私たちのクラブとRIっていうのは委託関係なのです。だから、人頭分担金を払っているRIはいろんな情報を送ってくれる。お子さんがいれば、お子さんへの期待を込めた愛情、私たちの大切な職業をいかに磨き上げて、そして業界団体の、業界の発展、また倫理化の向上、大切なのは、従業員さんがいれば、従業員さんの期待を込めた教育です。地域に何が困ってるのかというのをみんなで考え、そしてそれを持ち合って今年はこれにしよう。これが国際奉仕で鑑みれば世界が離れて

いるところの状況に何か困っていることはないのか。そしてそれを皆さんで手をとって、そしてまた私たちの未来である青少年だとして、彼らに期待を持った、期待を込めたプロジェクトを推奨する。そして彼らからいろんな話を聞いて、私たち自身が社会の認識を深めている状態で、そして1番、大事なのがクラブ奉仕なのです。ですから、クラブってというのはそれぞれが集まって皆さんがこのクラブを良くしようと。そのために会員増強や様々なことをするわけで。ですから、奉仕の理念を全てに思いやって、相手に役立つことをする。例えばこの前も、古山さんがセミナーにでられなかった、代わりに誰か出る、これをするによって、古山さんが情報を共有する、もし誰もいかなかったら情報は入ってきません。その後の議事録とか来るかもしれない。この前も米山奨学生のために特にわざわざ来てくれました。お忙しいのにほんとに、彼らは喜んでいます。やっぱり良かったなど、それは相手に対しても思いやりじゃないですか。ですから、このへんのところをしっかりとそれぞれが考えてほしい。私、地区大会で、さっきも喋ったのですが、3つのことを皆さんに伝えた。変わってきていますよ、ロータリー。新しい流れがありますよ。国際RCは当時35万人罹患したポリオの子供たちにポリオの根絶を約束した。ずっと続いて、そしてもう1つがDEIです。こちらのクラブは、男性も女性もいらっしゃるし、若い方もいらっしゃいます。これから是非、外国の方も入ってもらいたいのではないかなと思うのだけど、ロータリーの良い流れをつくるにはDEIは欠かせない。僕は需要という。まず、受け入れる。受け入れることをしましょうということを、DEIはこれからも生かして行動をしていかなければいけないかな、という。その3点ですね。ですから、そこを最初のうちに地区大会に参加した皆さんにお伝え申し上げて、そして元気なクラブに。今一言でいえばロータリーはpeople of actionです。世界を変える行動人として、今、私たちが何を1人1人ができるが問われています。ですから、このことをしっかりと皆さんにお考えになって、次のステップに行っていただきたいなと思います。「世界は絶えず変化しています」そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は何度も何度も書きかえらなければならないでしょう」P.ハリスの言葉です。

どちらかという国際RCに比べて日本RCはある意味クラシカルな部分もあります。ただそのよさもあります。ですから、新しいものを取り入れながら次の世代につなげるのが私たちの役目かなと思います。で、最後に私が好きな言葉を皆さんにお話をして終わらせていただきたい。1974年75年のRI会長、ウィリアム ロビンソンさんがこんなことを言っています。RCの一番の仕事は、人を育てること。クラブが何をやったのではない。いかにこのクラブから素晴らしいロータリアンを出せるかどうかです。いかに私たちロータリアンは、ロータリーの基本原則を学び、そしてテイクアクションをしながら、そしてpeople of action 姿で行動をするかによって新しい人と繋がって、そして会員を増やすことによってクラブ運営をし、新しい出会いをする。そういうよいスパイラル、そこには人間的な成長があり、友情があり、素晴らしい出会いである。というのがロータリーだと私は思っております。ハロー ロータリーというものもありますので、ぜひ楽しみにして参加をいただきたいと思います。このような形で皆さんの前でお話しできることに感謝を申し上げて私のアドレスをされています。どうも今日はありがとうございました。